

基礎スペイン語Ⅷ

科目ナンバリング SPA-108
必修 1単位

モリス ハイメ

1. 授業の概要(ねらい)

今年度後期の目標は、会話でのコミュニケーションに重点を置き、過去と未来の行動について話すことである。中心テーマは直説法の過去形で、このテーマに沿って、言語修得に必要な4つのスキル(聞く、話す、読む、書く)上達させる。今学期末には、学生は学習した知識を応用して、過去の日常生活、過去の出来事、直近の行動について説明できるようにする。さらに過去の事柄を時系列で並べられるようにする。加えて未来形と命令形を学ぶ。

2. 授業の到達目標

クラス毎に文法のテーマを一つ、視聴覚システムにより提示する。そのテーマについて筆記練習をして、最後に学生は口頭で発表する。クラスでは毎回口頭の練習を行う。これは加点対象になる。このクラスではテキストを2冊使う。1つはオーディオビジュアルで使う基礎文法のテキスト、もう一冊の練習問題集は、文章作成と読解の練習をすることにより、学習した文法をより強化するために使う。この学習で(聞く、話す、読む、書く)の4項目のスキルアップを目指す。学期末には、学生は過去の出来事、未来のこと、アドバイスや依頼について話せるようにする

3. 成績評価の方法および基準

成績評価は2回のテストと、クラスでの出席、予習、提出物の評価による。
中間テスト 40%
期末テスト 40%
宿題 / 平均点数 20%

4. 教科書・参考文献

教科書
ラテン文化センター横浜 CCLY グループワーク 「La Puerta al Español」
ISBN 978-4-600-00061-5 特定非営利活動法人 YOKOHAMA LANGUAGE STUDIES CENTER (NPO-YLSC)
Hirosawa Okihiro 「El Español Gramática y Ejercicios」
ISBN 978-4-560-09953-7 Hakusuisa

5. 準備学修の内容

学生は授業前にテーマについて読んでおくこと。
直説法過去、直説法未来、命令形の学習をすること。

6. その他履修上の注意事項

聴く力を身につけるために、スペイン語の歌を聴くこと。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス/ gustar動詞の復習
- 【第2回】 再帰動詞と人称代名詞の復習
- 【第3回】 直説法線過去(規則と不規則活用)
- 【第4回】 直説法点過去:活用の仕方と使い方
- 【第5回】 直説法点過去Ⅱ
- 【第6回】 線過去 VS 点過去
- 【第7回】 中間テスト
- 【第8回】 テストの見直し
直説法現在完了
- 【第9回】 直説法過去完了
- 【第10回】 現在完了 VS 点過去
- 【第11回】 命令形 (肯定／否定)
- 【第12回】 命令形 +人称 代名詞
- 【第13回】 未来形
- 【第14回】 全体の復習
- 【第15回】 期末試験